



むさし台



<http://www.fuchu11s.fuchu-tokyo.ed.jp/>

令和5年2月28日

No. 12

府中市立武蔵台小学校

校長 南條 吉男

新年度に向けて

校長 南條 吉男

3月3日は、ひな祭りです。ひな祭りは、昔の中国で起こったもので、日本には平安時代に伝えられ、はじめは貴族を中心にお祝い事が行われていましたが、江戸時代になると現在のような形で、庶民の間でも盛んに行われるようになりました。このひな祭りの最初は、自分の身に付いたけがれ（悪いことや病気等）をはらうために、紙で人形を作り、その人形を水に流したものです。室町時代には、流す人形と飾る人形の2種類になり、やがて飾る人形が多くなったということです。

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図りながら、日々の教育活動を行うという一年となりました。しかし、保護者の皆様、地域の皆様に支えられ、教職員と児童が力を合わせて、学習活動や学校行事等を進めることができました。心より感謝申し上げます。

3月は1年間のまとめの時期です。春の訪れ、その暖かさや草木の芽吹きは、1年間の成長を祝うかのような喜びを感じさせてくれます。一方で、学級が終わる、小学校を旅立つという別れの寂しさを味わう季節でもあります。もしかしたら、春の明るい雰囲気は、その寂しさを慰め、新しい出会いを予感させる自然の巡りの贈りものかもしれません。

6年生の卒業の日も少しずつ近づいて来ました。現学年のまとめをしっかりと行い、新年度へ向けて、進学・進級への意欲を高められるよう指導を重ねてまいります。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症への対応も変わり、児童の学校生活もコロナ禍前の日常を取り戻すことができるようになることが期待されます。令和5年度も、保護者の皆様、地域の皆様には引き続き、ご協力・ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

《三月の詩》

『ゆきふた』

いづな ようじ

ゆきどけの しらせが

おがわを つたわり

ウロロに ひびいて

はる・はる・はるがきた

こおりを すかして

ひかりが まぶしく

せびれに きらめき

はる・はる・はるがきた

出典のはらうた

作 工藤 直子